

拠出金名：メコン河委員会拠出金

国際機関等名	メコン河委員会 (英文名称・略称) Mekong River Commission (MRC)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	(その他)
所轄官庁担当局課名	外務省アジア大洋州局南東アジア第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成18年度	0	0			-	-
平成17年度	4,280	40		1\$ = 107円	(2005年) 100	100
平成16年度	5,500	50		1\$ = 110円	(2004年) 100	100
拠出上位5ヶ国・機関(注2)				国際機関等の財政 (2006年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 12,207,450ドル		
1位	デンマーク	2,247	37.6	当該年度の支出 12,964,016ドル		
2位	オランダ	1,863	21.7	次年度への繰越 8,223,263ドル		
3位	スウェーデン	1,582	20.1	会計検査機関名		
4位	ベルギー	1,338	16.7	KPMG Lao Co., Ltd		
5位	IBRD	1,336	1.5			
上記の率及び順位は2006年のもの(プロジェクト経費を含む額)						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
・メコン河流域の開発と管理に関する常設の事務局を持つ唯一の国際機関として、関係国・地域及び関係機関相互の調整、協調の場としての役割は大きい。 ・地域の持続的開発の基盤となる環境及び水資源管理を扱う機関として果たす役割が大きく、メコン地域における環境や資源の保全、貧困の解消、政治的な安定に大きく寄与している。 ・流域国内の会合や、加盟国とドナーとの対話の場であるドナー会合等を定期的に実施し、我が国を含む各ドナーの意見を計画に反映するよう努めており、地域開発におけるプロジェクト実施・調整機能の向上に向けた努力は評価できる。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
2006年末に取りまとめられたMRCの組織・機能等の強化・合理化のための独立レビューミッションの報告を踏まえて、現在は事務局の流域国化を最優先課題として、2012年までのアクションプランを作成し、実現に向けて取り組んでいるところ。その過程では、インターナショナル職員の順次流域国職員への置換えと短期コンサルタントによる補完と平行して、事務局各レベル(上級管理職、管理職、技術職)の資質向上のための研修を進める予定である。合理化、機能強化に向けた成果については今後、注視する必要があるが、その実現に向けた努力は現時点では高く評価できる。						
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	134人 1.5%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2005年)。

(注2) 2006年中に拠出された金額の大きい順に上位5ヶ国及び機関。

(参考) この国際機関には他に農林水産省から拠出あり。